

受講生募集

参加費 **2,500円**
定員**10名**

◆オンライン「Zoom」にて開催

自分を大切にしたい人とのつながりを作る方法 「かもすワークショップ」を一緒にやいませんか？

「対話の土壌をかもすワークブック」
を使い今年もワークショップをします。
コロナ禍でも人とつながりあおう。
今年自分を大切にしたい人とのつながりを作る方法について学びます。

- ・料金は、分割支払可(要相談)
- ・非会員の方(別途テキスト代500円)

第1回 心身のセルフケアで 自分を大切にする



はたらく女性の全国センター 総会テーマ
2日：「私」をつないで帆を上げよ！
互いに生きのびられるACW2へ
2020年2月16・16日 オリンピックセンター

開催日 11/20 (日)
14:00～17:00

話し合いのグランドルール
セルフケアの仕方を学びあう

第2回 自分の良いところ探し



開催日 12/18 (日)
14:00～17:00

「長所」と「短所」を
考える

第3回 自分の中の力を知る



開催日 1/15 (日)
14:00～17:00

「Power Flower」を作成

第4回 人の話を良く聴く



開催日 2/19 (日)
14:00～17:00

傾聴と質問のとレーニング

第5回 人に伝わる話しかた



開催日 3/19 (日)
14:00～17:00

3分間スピーチトレーニング

はたらく女性の全国センター (ACW2)

主催 共育小グループ 申込みアドレス
Education@acw2.org

「共育小グループ」呼びかけ 私たちからのメッセージ

伊藤みどり

対話の土壌をかもすワークブックは対話の仕方を中心に発行して、これまでに3刷りされ、まだ全国から注文が来ます。私たちの知らないところで利用されていることを知り、とても嬉しいです。そのワークブックは韓国やアメリカの教材を元にワークショップを行った後、日本の文化にも通じるように改良して作られたものです。

ACW2の中で困難な課題を議論できたのも、このブックレットの経験が大きいと感じています。

いま、コロナ禍で人が生きていくために意見の違いや分断があっても互いを尊重し、人間関係を良好にして協力し合う社会が、多くの人たちで共通の課題になってきました。

自立や自己責任ばかりが強調される世の中で、相互に依存しあい助け合えていく安心できる関係性を作るにはどうしたらよいのでしょうか？

ワークショップにあなたの参加をお待ちしています。

おーやん

調べると「対話」とは「向かい合って話し合うこと。また、その話」(小学館/大辞泉より)とあります。どこにも、「聞く」「聴く」「訊く」などという言葉は出てきません。しかし、「きく」という行為がなければ、対話は成立しないと私は考えています。

話す人は「目の前の人を傷つけないように話す」聞く人は「目の前にいる人に、心を傾ける」この2つの行為を交互に行うことが、様々な困難にあっても、今日を生き抜く力になるのではないかと考えています。

話す練習よりも、聞く練習の方が時間も経験も必要であるにもかかわらず、「傾聴」という言葉に代表されるように「支援のため」のトレーニングに主眼が置かれていると感じています。自分のために異なる意見にも、心を傾けることから始め、お互いを尊重することで「かもす」ことにつながれば、何か良い結果が生まれるのではないのでしょうか。

時間を一緒に過ごしませんか。